

レンズを使用する前に必ず添付文書をよく読み、必要なときに読めるように保管してください。

*2017年6月(第2版)新記載要領に基づく改訂
2014年10月(第1版)

承認番号: 22600BZX00238000

機械器具 72 視力補正用レンズ
高度管理医療機器 再使用可能な視力補正用色付コンタクトレンズ 32803000
* (再使用可能な非視力補正用色付コンタクトレンズ 47837000)

トーマー 2WEEKS (2週間交換型ソフトコンタクトレンズ)

*【警告】

1. **コンタクトレンズ(以下、レンズ)の装用により、角膜潰瘍、角膜炎(感染性角膜炎を含む)、角膜浸潤、角膜びらん等の角膜上皮障害、角膜浮腫、結膜炎(巨大乳頭結膜炎を含む)、虹彩炎、角膜血管新生等が発症する可能性及び角膜内皮細胞の減少を早める可能性があります。**
レンズの装用による眼障害の中には、治療せずに放置すると失明につながるものがあります。
2. **上記の眼障害を起こさないようにするためにも、レンズを使用する際は次のことを守ってください。**
 - (1) **装用時間を正しく守ること**
レンズの装用時間には個人差があります。眼科医から指示された装用時間を守ってください。
 - (2) **使用期間を守ること**
このレンズは、使用する期間が決まっています。眼科医の指示に従い、使用期間を超えことなく、定期的に新しいレンズと必ず交換してください。
 - (3) **取扱方法を守り正しく使用すること**
レンズやケア用品の取扱方法を誤ると眼障害につながる恐れがあります。レンズやケア用品(特にレンズケース)は清潔に保ち、正しい取扱方法で使用してください。
 - (4) **定期検査を受けること**
自覚症状がなく調子よく装用していても眼やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくても眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。
 - (5) **異常を感じたら直ちに眼科を受診すること**
レンズ装用前に眼ヤニや充血がないか、また装用後も異物感がないか確認し、異常を感じたら眼科を受診してください。
 - (6) **破損等の不具合があるレンズは絶対に使用しないこと**
装用前に、レンズに破損等の不具合がないか必ず確認してください。装用中にレンズの破損等による自覚症状が発生し、自覚症状が改善しない場合は眼科を受診してください。

*【禁忌・禁止】

1. **適用対象(患者): 次の人は使用しないこと**
前眼部の急性及び亜急性炎症
眼感染症
ぶどう膜炎
角膜知覚低下
レンズ装用に問題となる程度のドライアイ及び涙器疾患
眼瞼異常
レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患
常時、乾燥した生活環境にいる人
粉塵、薬品等が眼に入りやすい生活環境にいる人
眼科医の指示に従うことができない人
レンズを適切に使用できない人
定期検査を受けられない人
レンズ装用に必要な衛生管理を行えない人
2. **使用方法**
自分のレンズを他人に渡したり他人のレンズを使用しないこと
3. **併用医療機器**
MRI 検査を受ける際にはレンズをははずすこと

*【形状・構造及び原理等】

1. レンズの組成

- (1) ソフトコンタクトレンズ分類: グループ I
- (2) 構成モノマー: 2-HEMA、EGDMA
- (3) 含水率: 38.6%
- (4) 酸素透過係数: $8.5 \times 10^{-11} (\text{cm}^2/\text{sec}) \cdot (\text{mLO}_2/(\text{mL} \times \text{hPa}))$
- (5) 着色剤: 金属酸化物系着色剤、フタロシアニン系着色剤
(着色剤はまぶた側に存在しており、ポリマー層によりレンズ内に包埋されている)

2. 保存液

保存液の主成分: 塩化ナトリウム

3. 原理

- (1) 視力補正用
屈折力を持つレンズによって視力補正ができ、着色により虹彩又は瞳孔の外観(色、模様、形)を変えることができる。
- (2) 非視力補正用
着色により虹彩又は瞳孔の外観(色、模様、形)を変えることができる。

*【使用目的又は効果】

- (1) 視力補正用: 視力補正及び虹彩又は瞳孔の外観(色、模様、形)を変える。
- (2) 非視力補正用: 虹彩又は瞳孔の外観(色、模様、形)を変える。

*【使用方法等】

終日装用、2週間交換、化学消毒又は煮沸消毒

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. レンズ着脱

- (1) レンズ取扱いの注意事項
 - ・爪を短く切り、丸くなめらかにしてください。
 - ・レンズを取り扱う前に必ず手を洗浄してください。
 - ・レンズを着脱するときは、爪を立てたり、指先が直接眼にふれないようにしてください。
 - ・開封時にアルミシールで手指を切らないように注意してください。
 - ・レンズをキズつけないように、爪を立てず指の腹でそっと容器から取り出します。
 - ・装用前にレンズの左右、裏表を確認してください。

(2) レンズのはめ方



- 1) 利き手の人差し指の先にレンズをのせます。
- 2) レンズをのせた手の中指で下まぶたを引き下げ、もう一方の手の中指で上まぶたを引き上げ、眼を大きくあけます。まつげの生え際から引張ると眼をより大きくあけることができます。
- 3) レンズをゆっくりと眼に近づけ、黒眼の上にそっとのせます。
- 4) レンズを黒眼にのせたら、眼をあけていた指をゆっくり離し、まばたきをゆっくりしてください。
- 5) 左右の見え方を確認し、入れ違いがないかを確認してください(視力補正用の場合)。

(3) レンズのはずし方



- 1) 鏡を見ながら眼をできるだけ大きくあけてレンズの位置を確かめ、やや上目づかいで眼をあけます。

- 2) 利き手中指で下まぶたを引き下げます。
- 3) そのままの状態ですり指と人差し指でレンズの下方をつまみでずします。レンズをつまむときは絶対に爪を立てないでください。眼にキズをつけたり、レンズが破損する場合があります。眼やレンズが乾いているとなかなかはずれません。2～3度つまんでもはずれない場合は、ソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼し、数回まばたきをしてからレンズをはずしてください。

2. 装用スケジュール

- (1) このレンズは最長2週間で交換する終日装用レンズです。レンズは起きている間に装用し、眠る前には必ずはずしレンズケアを行ってください。
- (2) レンズの装用に慣れるまでのスケジュールは個人差があります。必ず眼科医の指示に従って、あなたにもっとも合ったスケジュールで慣らしてください。

[スケジュール例]

装用日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
装用時間	4～6時間	6～8時間	8～10時間	10～12時間	10～12時間	10～12時間

- (3) 装用を中断した場合

装用中止期間	装用再開日からの装用時間
1週間未満	最後の装用日の時間から2～6時間短縮して始め、徐々に時間をのばしてください。
1週間以上1ヵ月未満	はじめて装用する場合の1日目のスケジュールから始めてください。
1ヵ月以上	1ヵ月以上装用を中止した場合は必ず眼科医の診察を受け、指示されたスケジュールを守ってください。

3. レンズケア

ソフトコンタクトレンズは装用後の洗浄と消毒が不可欠です。注意事項として、以下のことを守ってください。

- ・レンズ両面を十分にこすり洗うこと
- ・レンズ装用前にはすすぎを行うこと
- ・MPSは、開封後1ヵ月を目安に使用すること
- ・使用後の消毒液は再利用しないこと
- ・消毒液は他の容器に入れ替えないこと

詳細についてはそれぞれのケア用品の使用説明書、表示事項等を必ず読んでください。

4. レンズケースの管理方法

- (1) レンズケースは定期的に新しいものと交換してください。
- (2) 使用後のレンズケースは中の消毒液を捨て、よく洗った後、自然乾燥させてください。

5. 定期検査

レンズ装用開始日から1週間後、1ヵ月後、3ヵ月後、以降3ヵ月毎に、又は眼科医の指示に従って必ず定期検査を受けてください。

*【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) レンズを使用する前に必ず添付文書をよく読み、必要なときに読めるように保管してください。
- (2) アレルギー疾患（金属アレルギー等素材に対するアレルギーを含む）を有する場合は、有害事象が発生する危険性が高まりますので眼科医に相談してください。

2. 不具合・有害事象

以下の不具合や有害事象が発生する可能性があります。

- (1) 不具合
 レンズ：破れ、キズ、変形、変色、汚れ、くもり、白濁
 保存液及び容器：液漏れ、液の変色・変質、破損、汚れ
- (2) 有害事象
 角膜潰瘍、角膜膿瘍、角膜穿孔、角膜浸潤、角膜びらん、角膜炎、角膜上皮ステイニング等の角膜上皮障害、角膜浮腫、角膜血管新生、結膜炎、結膜下出血、虹彩炎、麦粒腫、マイボーム腺炎、霰粒腫、眼瞼下垂、調節性眼精疲労、ドライアイ、角膜上皮細胞の減少

症状	対処方法
異物感、痛み、かゆみ、くもり、眼ヤニが多く出る、充血	・レンズを確認し、キズや破損がある場合は、新しいレンズに交換する。 ・汚れがある場合は、レンズのこすり洗い、すすぎを行う。 ・装用時間が長すぎる場合は、装用時間を短縮する。
視力不安定、見えにくい、眼の疲れ	・レンズの左右、裏表を確認し、レンズを正しく入れ直す。 ・装用時間が長すぎる場合は、装用時間を短縮する。
乾燥感	・数回まばたきをして涙を多く出す。 ・ソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼する。

3. 高齢者への適用

高齢者で、ご自身での取扱いが困難な場合には、眼科医に相談の上、ご家族の方が補助してください。

4. 妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用

- (1) 薬剤の服用や点眼が必要な方、妊娠、出産された方は、レンズの装用に影響を及ぼすことがありますので、眼科医に相談してください。
- (2) 小児にレンズを使用させる場合は、保護者の方等による指導監督のもとに使用してください。

5. その他の注意

- (1) レンズ紛失時及び装用中止時の対応として、予備レンズを携帯し、眼鏡と併用してください。
- (2) 化粧はレンズをはめてから、化粧落としはレンズをはずしてから行ってください。
- (3) 化粧品等がレンズにつかないようにしてください。
- (4) 装用中に使用する目薬は、防腐剤を含まないソフトコンタクトレンズ用の人工涙液型点眼薬をおすすめします。それ以外の目薬は眼科医の指示を受けて使用してください。
- (5) 水泳の際はレンズをはずしてください。
- (6) 未使用のレンズに異常が認められた場合は、レンズの購入先までご連絡ください。
- (7) 海外で使用する場合は、必要なケア用品を持参してください。
- (8) レンズの着色部分によって、光の量が減少し、見えにくく感じる場合があります。また、視野周辺部に違和感を覚える場合があります。これらはレンズ装用に慣れるに従い軽減されますが、長引く場合は眼科医に相談してください。
- (9) レンズの装用により、暗い場所では見えにくいことがあります。暗い場所での車の運転や機械の操作は、特に注意してください。
- (10) 激しいスポーツ等では、レンズがずれて、視界を妨げることがあります。

*【保管方法及び有効期間等】

- (1) 保管方法：直射日光及び高温、凍結を避け、室温で保管してください。
- (2) 使用期限：レンズの使用期限は、容器のラベルに記載されています。記載された使用期限までに開封し、使用を開始してください（例：YYYY-MM=使用期限YYYY年MM月末日）。

*【保守・点検に係る事項】

- (1) 消毒の方法：化学消毒又は煮沸消毒
- (2) レンズケア：「<使用方法等に関連する使用上の注意>3. レンズケア」の項を参照してください。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

株式会社 トーメーコンタクトレンズ
052-588-2482

<製造業者>

アイシービジョンテクノロジー社/I-SEE VISION TECHNOLOGY INC. (台湾)

<装用時の症状と対処方法>

- ・眼の調子や体調が悪い場合は、無理に使用しないでください。
- ・レンズの使用時、次のような症状が発生した場合は対処方法をお試しください。症状が続く場合には速やかに眼科を受診してください。